

多目的屋内施設及び豊橋公園東側エリア整備 基本設計の概要に関する説明会 (令和8年2月20日、2月22日)

豊橋市

豊橋ネクストパーク株式会社

※本資料に掲載のイメージ図等に関しては、今後、整備内容が変更となる場合があるほか、既存の樹木や背景は実際のものとは異なる場合があります。

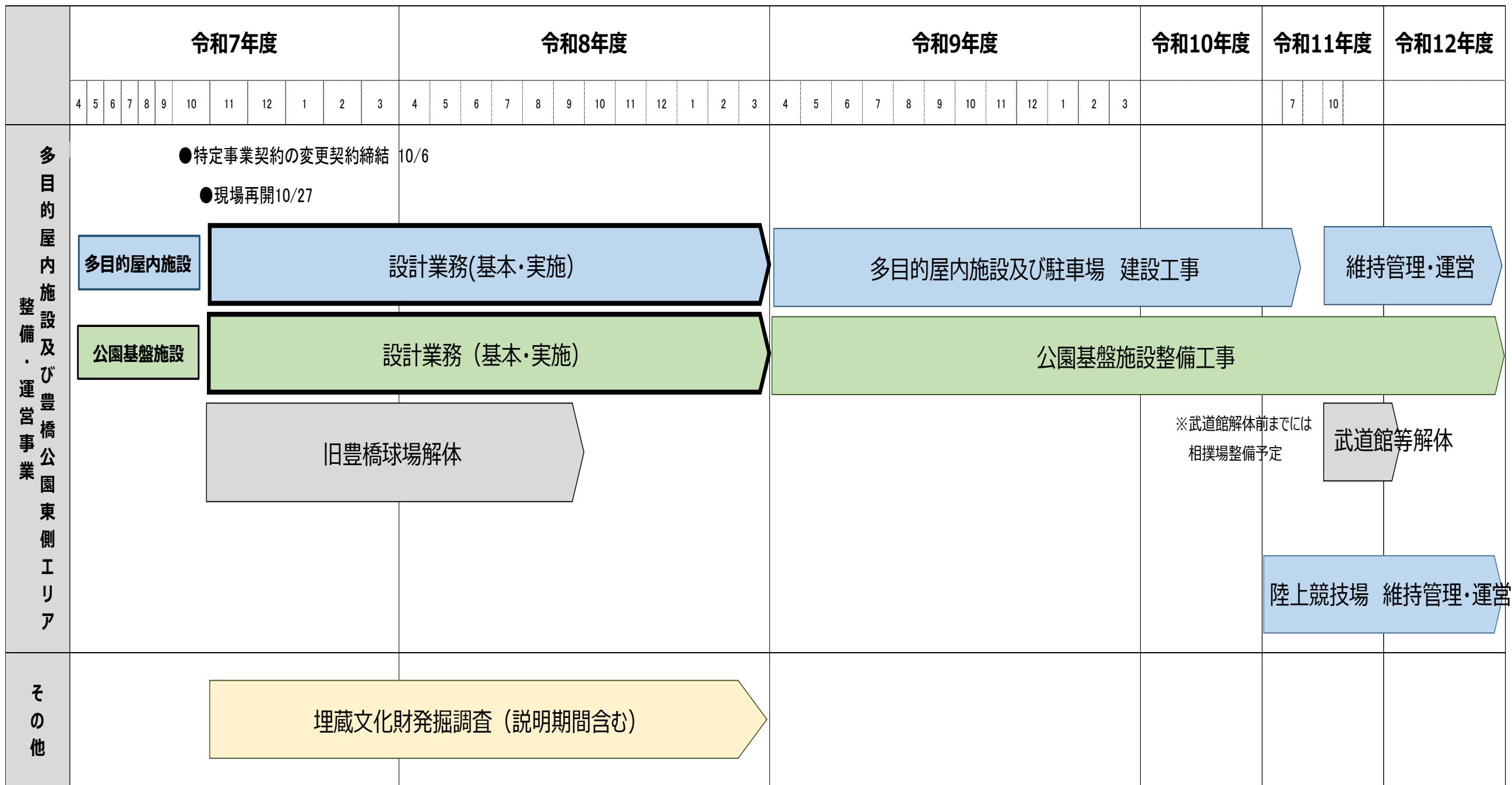
【目次】

1. スケジュール
2. 整備区域概要
3. 基本設計概要
 - (1) 公園基盤施設
 - (2) 多目的屋内施設

1.スケジュール

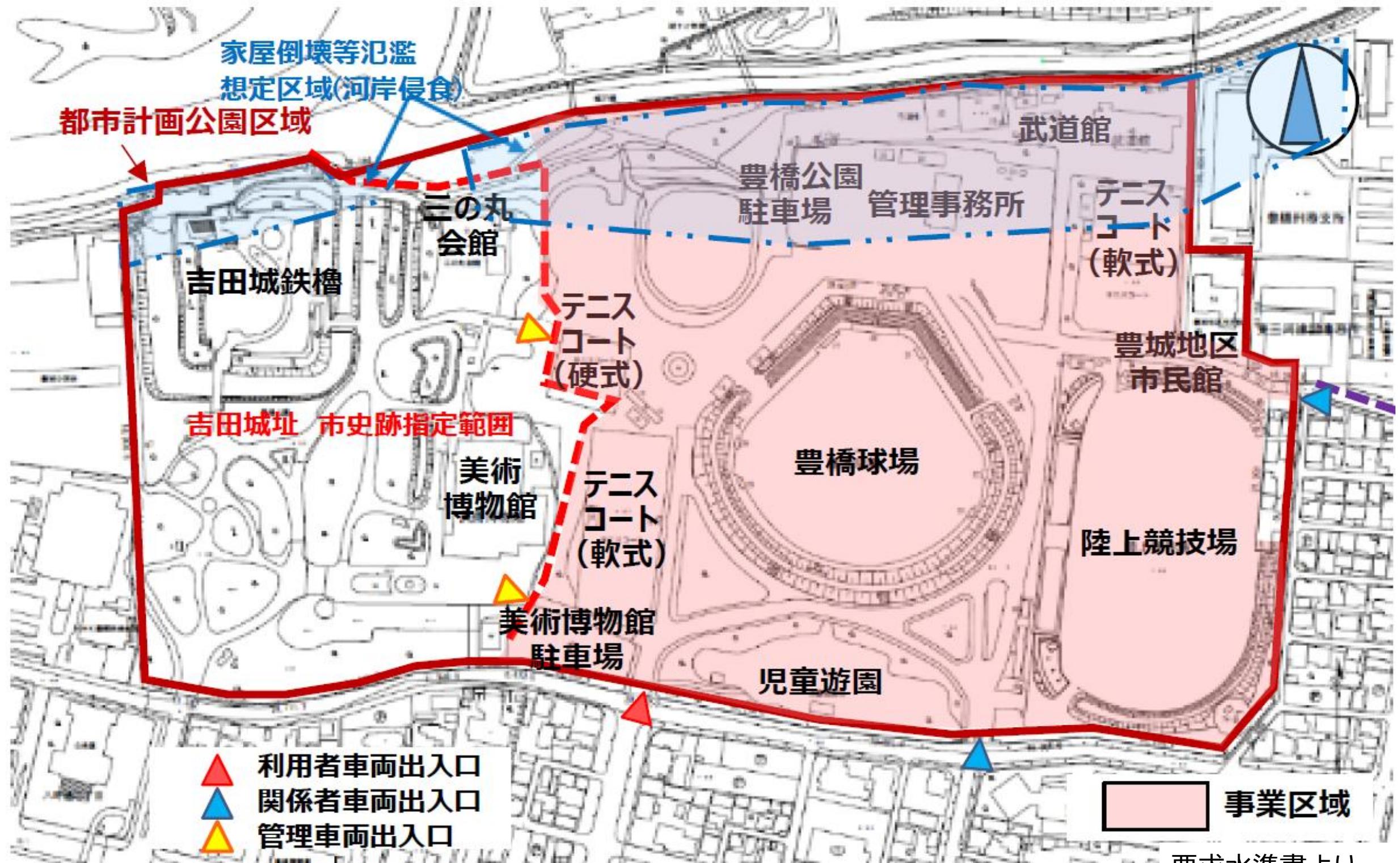
今後の事業スケジュール

多目的屋内施設及び豊橋公園東側エリア整備・運営事業の事業スケジュールは下図のとおり予定しています。



2.整備区域概要

事業区域概要(施設配置状況) 要求水準書より



要求水準書より

3.基本設計概要 (1)公園基盤施設

事業提案内容(公園基盤施設 提案平面図)



3.基本設計概要 (1)公園基盤施設

公園基盤施設の提案プランの主な考え方

【景観】

- 既存樹木をなるべく活かして公園の自然との調和を図り、景観に配慮している。
- 「集いの丘」により、多目的屋内施設のボリューム感を抑え、芝生広場と連続させることで緑に囲まれた空間を演出している。
- 「集いの丘」は、照明により夜間の演出にも配慮している。

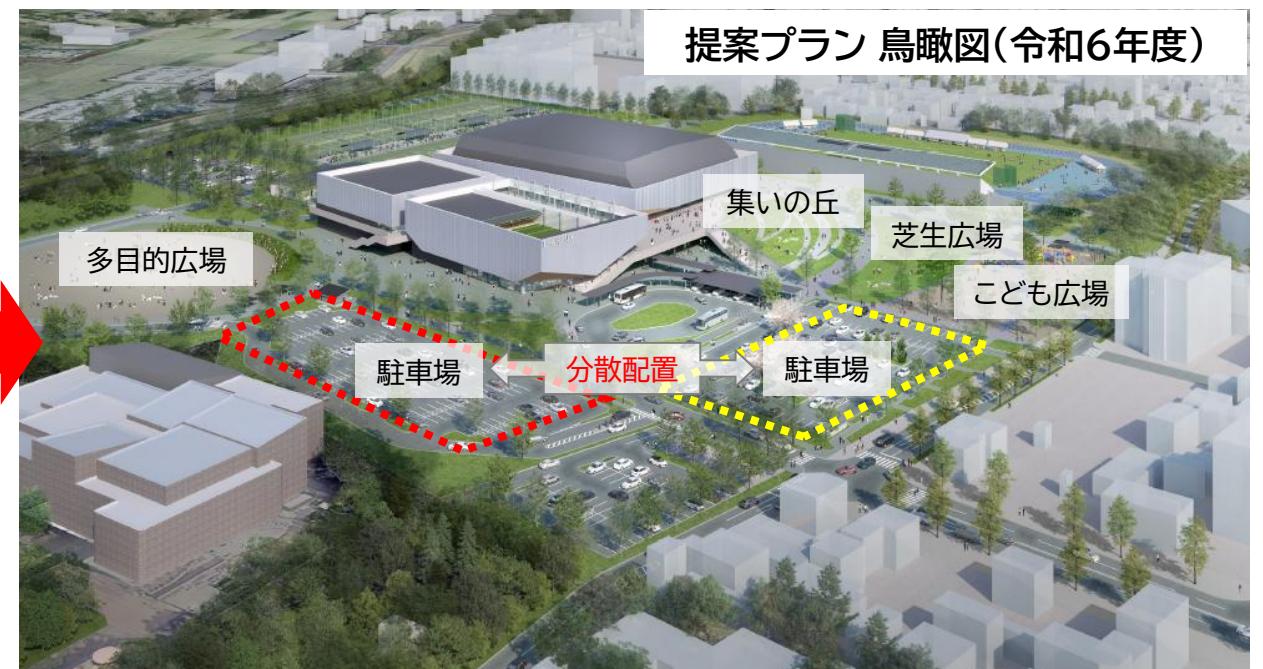
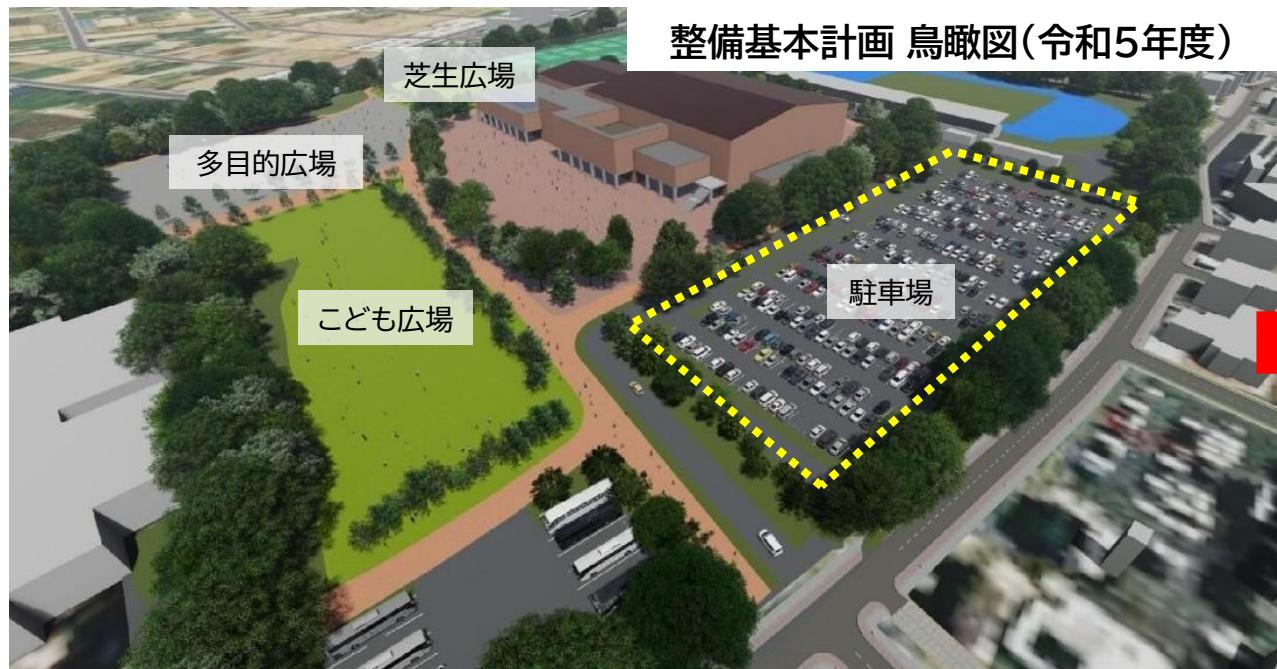
【配置】

- 多目的広場を公園北西側に独立配置し、にぎやかなイベントを開催しやすくしている。
- バスやタクシー等の乗り降りに便利なロータリーを配置している。
- 駐車場は、分散配置により、車いす利用者も含めた各種公園施設への利便性を高くしている。
- こども広場と芝生広場を隣接させ、既存樹による木陰のある憩い空間としている。
- 豊橋公園の良好な自然との調和に配慮するとともに、防災機能の充実を図る。

3.基本設計概要 (1)公園基盤施設

公園基盤施設の提案プランの主な考え方

- 既存樹は公園南側の児童遊園エリアに多いため、整備基本計画の駐車場を分散して整備。
- 集いの丘と芝生広場、こども広場を一体的に整備して、樹木による木陰が心地よい緑に囲まれた空間を創出。



3.基本設計概要 (1)公園基盤施設

公園基盤施設の提案平面図(テニスコート・相撲場)

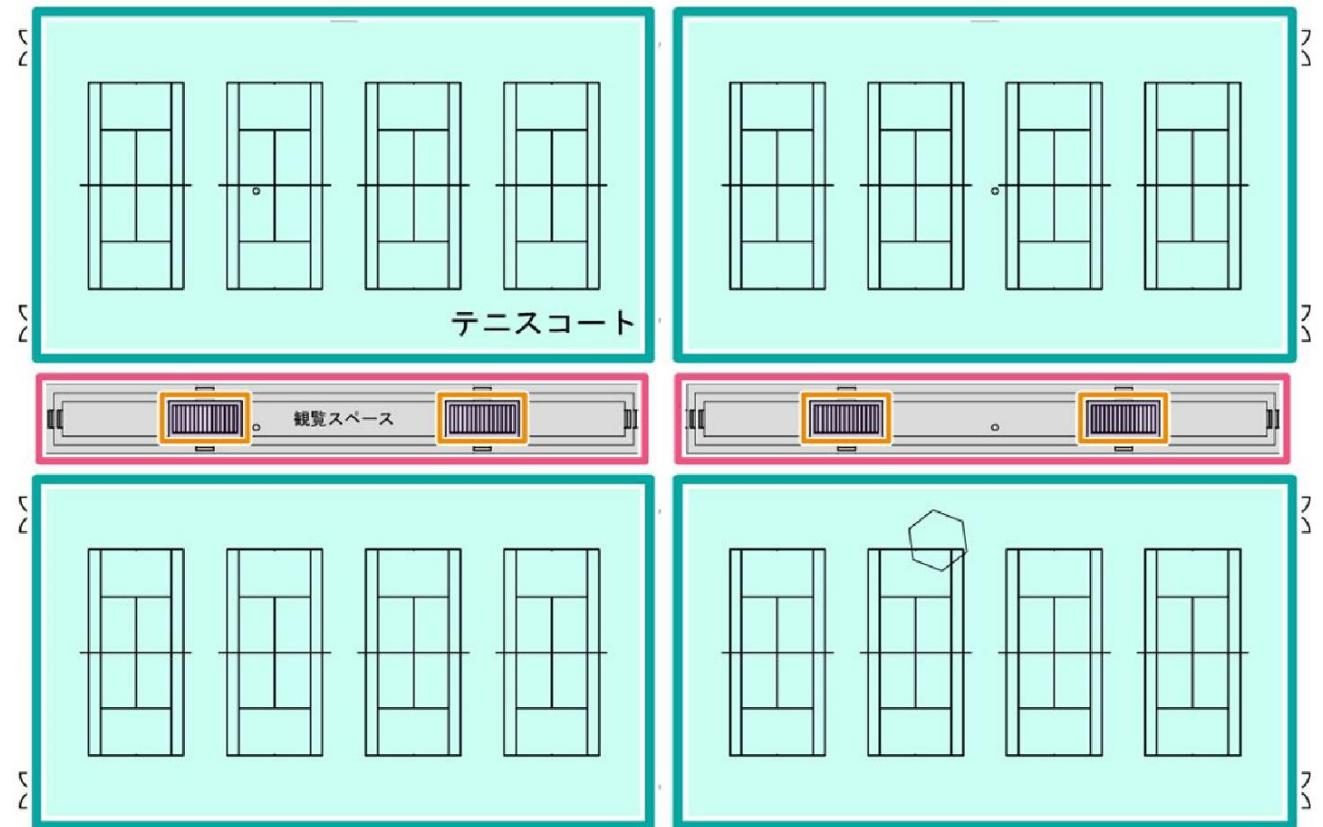
テニスコート

南北方向に16面

全天候型舗装(砂入り人工芝)

東西に階段状の観覧スタンドを設置

- 観覧スタンド
- 屋根付き施設
- 高尺フェンス

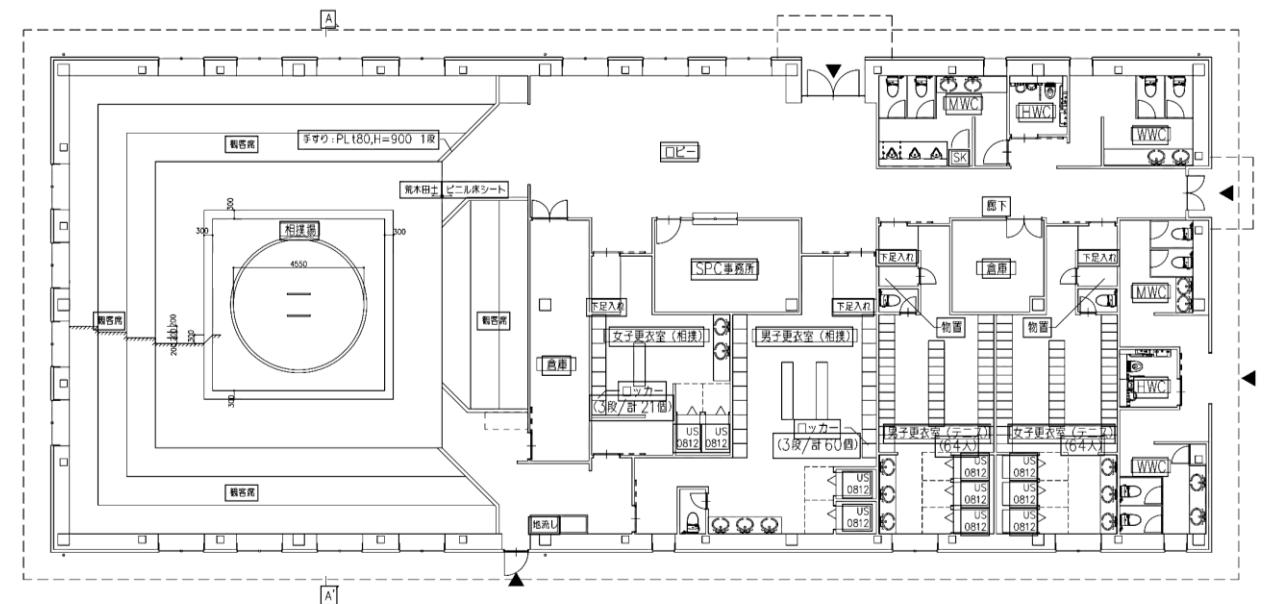


相撲場

土俵(1面)

観覧スペース、更衣室、トイレを設置

テニス用更衣室、屋外トイレを併設



3.基本設計概要 (1)公園基盤施設

公園基盤施設の整備にあたっての検討

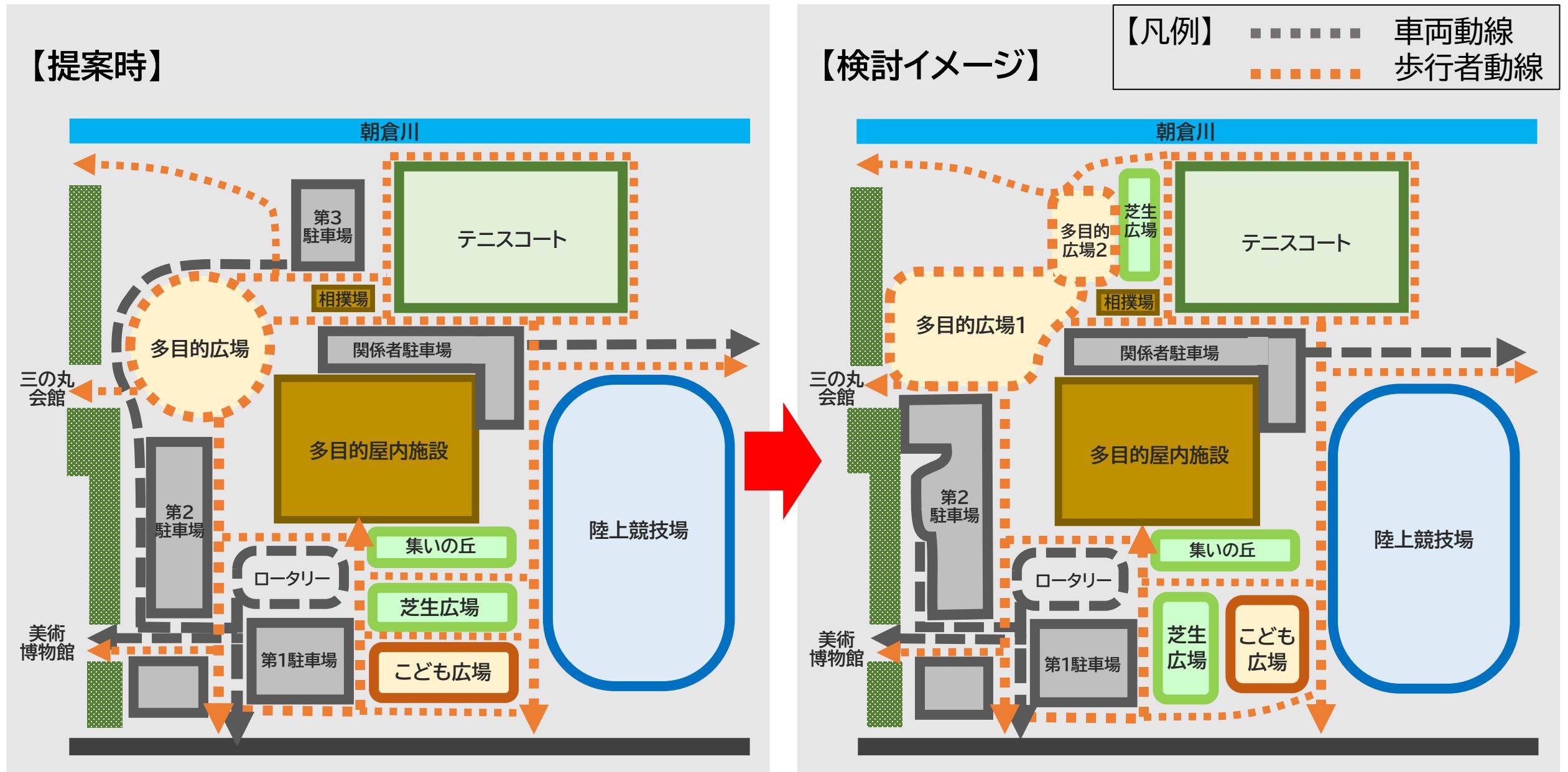
関係団体等へのヒアリングや市をはじめ関係機関との協議を踏まえ、当初の提案内容からさらに改善できるように基本設計を進めています。

【主な検討のポイント】

- 歩車分離による公園利用者の安全性の向上
- 周辺道路の渋滞対策を念頭に置いた駐車場計画
- 施設配置の再検討による安全性及び利便性の向上
- 既存樹木の保全への配慮 など

3.基本設計概要 (1)公園基盤施設

公園基盤施設の整備にあたっての検討を踏まえたゾーニングイメージ



【検討の方向性(駐車場台数、多目的広場や芝生広場などの規模等の要求水準書は準拠)】

- 歩行者動線と車両動線の交差エリアの削減
- 駐車場、こども広場、多目的広場等の配置の見直し
- 交通シミュレーション(実施中)を踏まえた公園入口の2車線化の検討 など

3.基本設計概要 (1)公園基盤施設

災害時における緊急車両動線計画

○緊急車両とその他動線の分離

緊急時において、人や一般車両の動線と物資輸送車両や緊急車両の動線が交錯しないよう、使用する道路を分離した動線計画とします。
防災物資の輸送拠点として運用する際には、主動線を一筆書きの一方通行とすることで、すれ違いを無くした円滑な利用を可能とします。

○公園基盤施設の災害時の機能転換

多目的広場を緊急車両や物資輸送車両、一時避難者の車両を状況に合わせて受け入れる臨時駐車場に転換するなど、災害時の機能転換を可能とします。

○災害時の夜間活動の対応

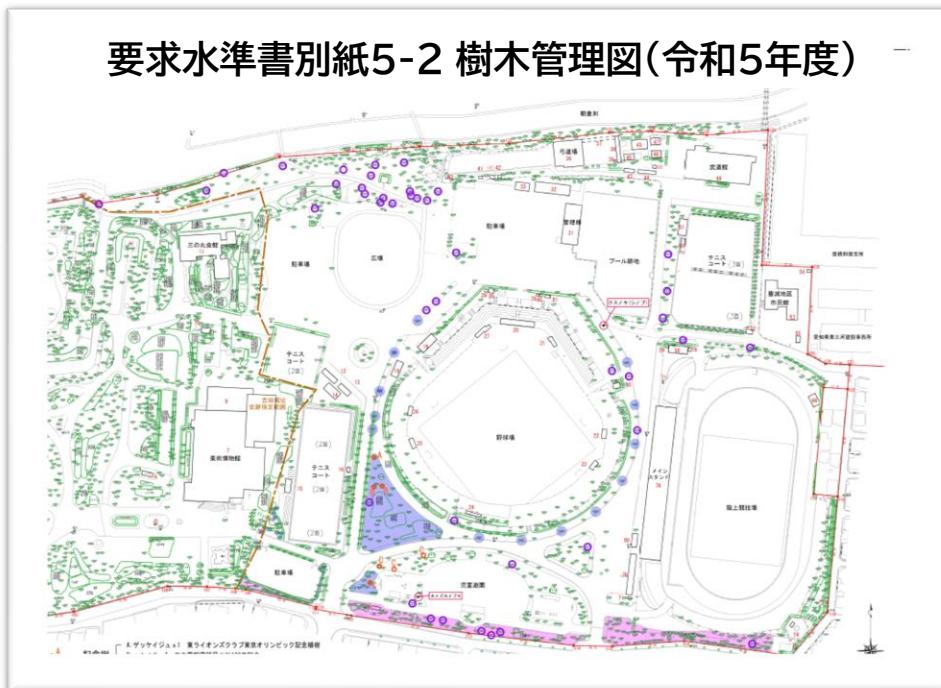
災害時の夜間活動に寄与するため、公園出入口などにソーラーライトを設置するほか、テニスコートに夜間照明を設置し、救援部隊の活動場所として活用を想定します。



3.基本設計概要 (1)公園基盤施設

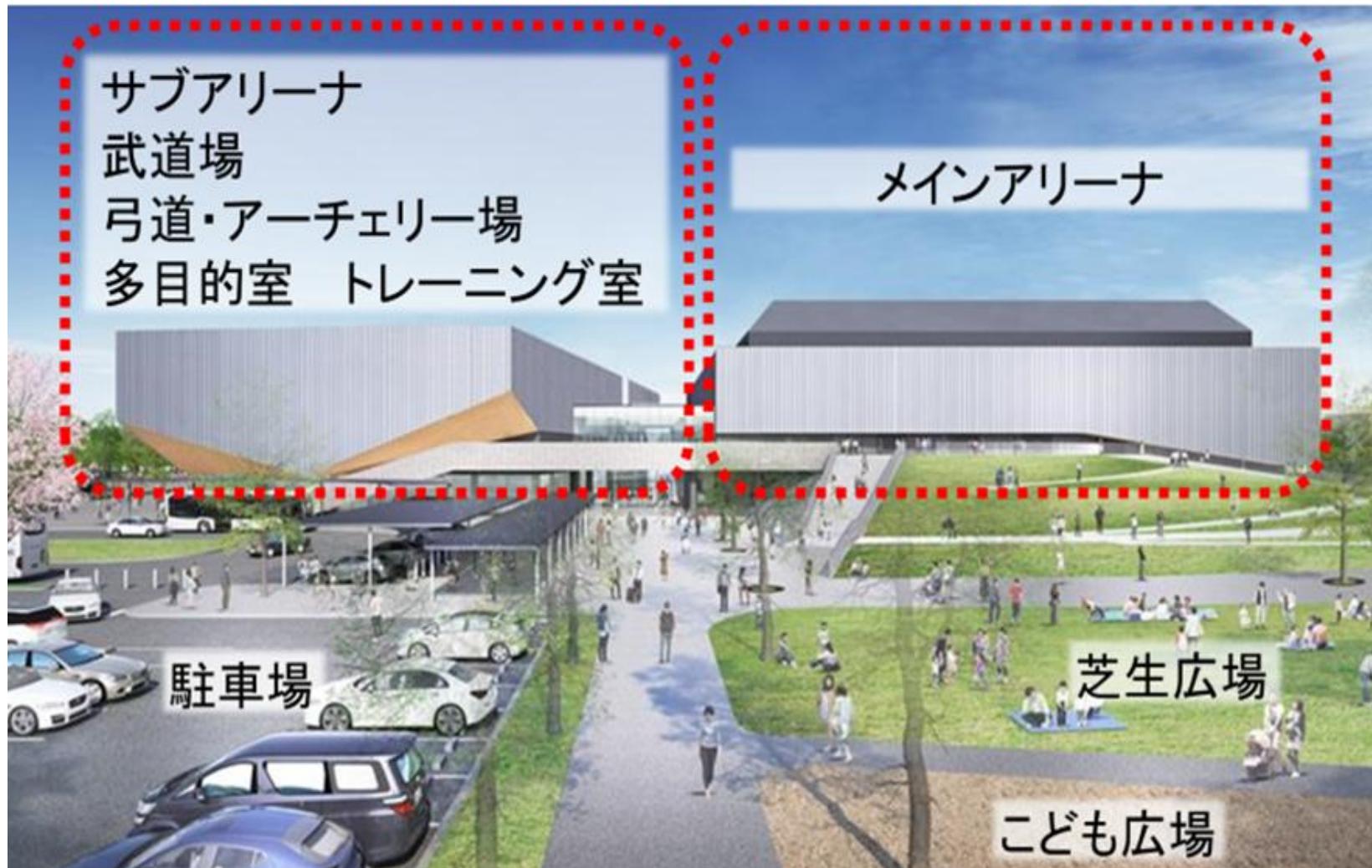
既存樹木の保全による配慮

要求水準書及び樹木管理図に基づき、記念樹、緩衝帯となる植樹帯をできる限り保全するように配慮しています。また、提案時よりさらに保全樹の追加を検討しています。

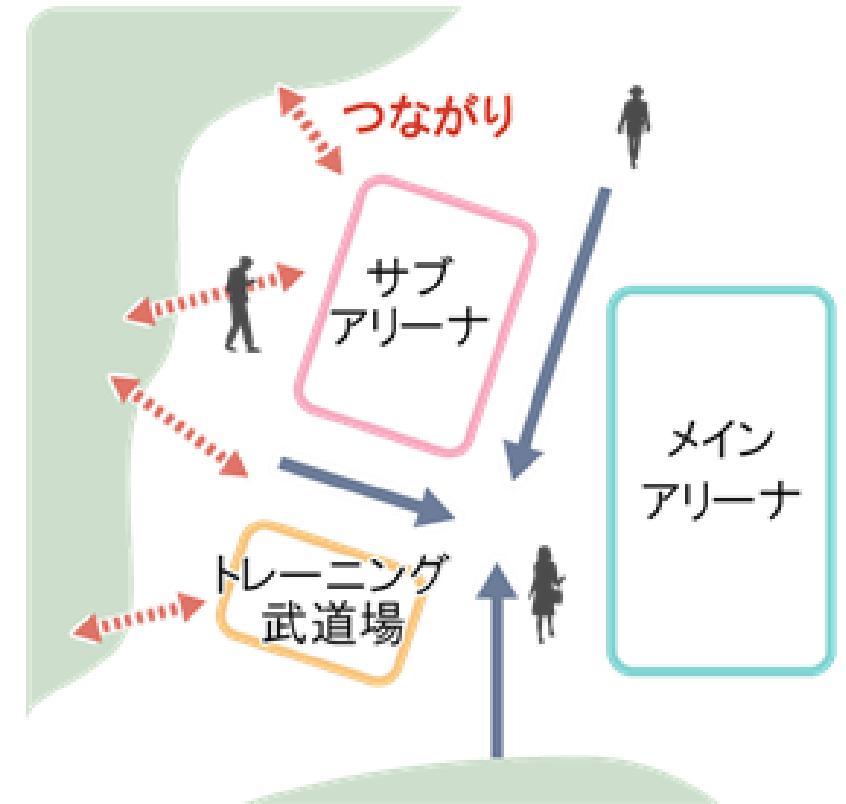


3.基本設計概要 (2)多目的屋内施設

多目的屋内施設の提案プランの主な考え方



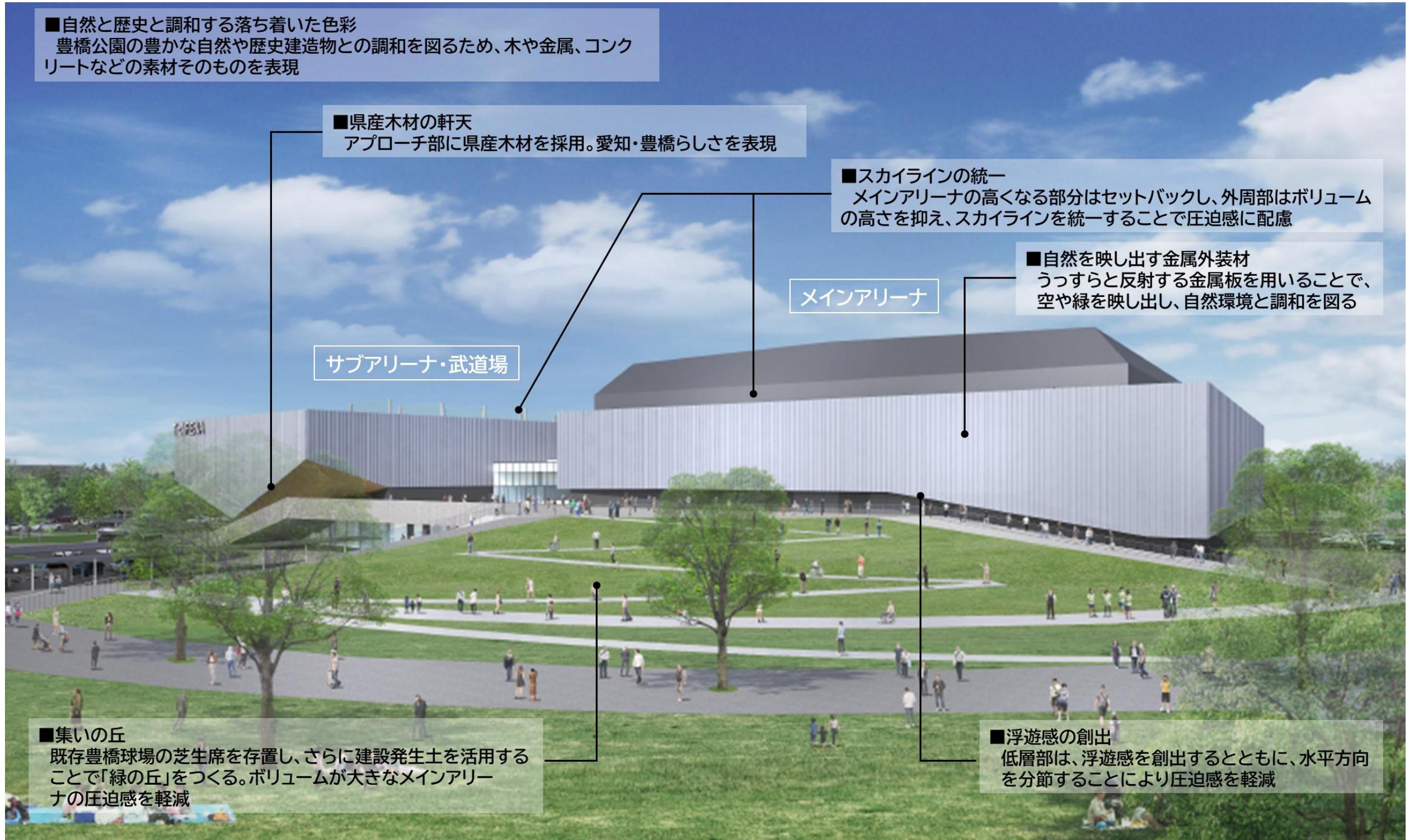
角度をふり、個々の空間の間を外に開くことで広場とのつながりをもつ



- メインアリーナやサブアリーナでのイベント開催時も多目的室やトレーニングルーム、武道場、弓道場等は市民利用が可能な計画となっている。
- 誰もが快適に安心して競技・鑑賞・観戦を楽しめるよう、ユニバーサルデザインに配慮した施設づくりとなっている。
- 公園とのつながりをもった施設配置とする。

3.基本設計概要 (2)多目的屋内施設

多目的屋内施設の提案プランの主な考え方



3.基本設計概要 (2)多目的屋内施設

多目的屋内施設の整備にあたっての検討

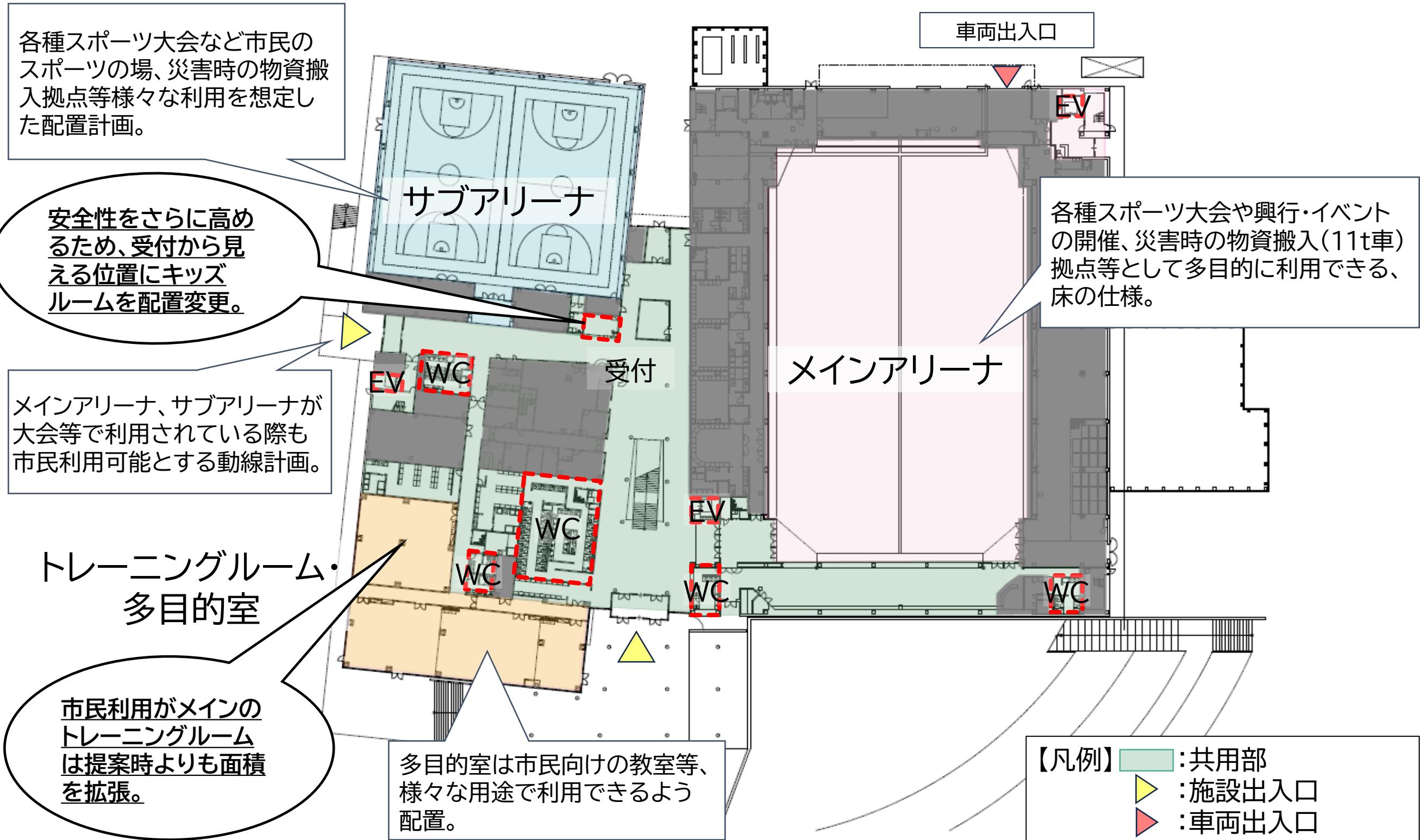
関係団体等へのヒアリングや市をはじめ関係機関との協議を踏まえ、当初の提案内容からさらに改善できるように基本設計を進めています。

【主な検討のポイント】

- 建物の圧迫感を低減するため、外観デザインなどを検討
- ユニバーサルデザインに更に配慮した動線計画・諸室配置の見直し
- 市民利用がメインとなるエリアの平面計画の再検討 など

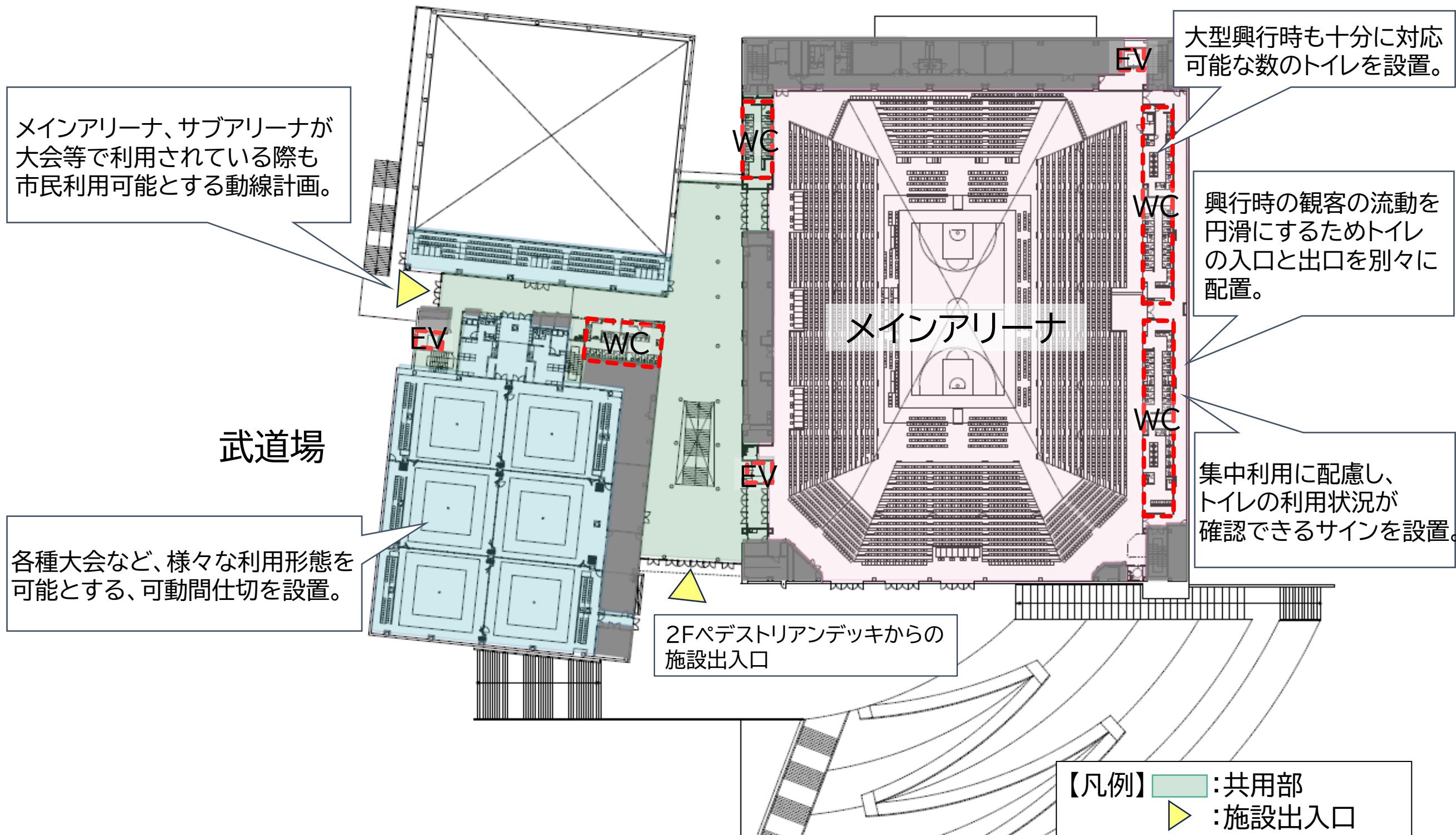
3.基本設計概要 (2)多目的屋内施設

多目的屋内施設平面図(1F) (案)



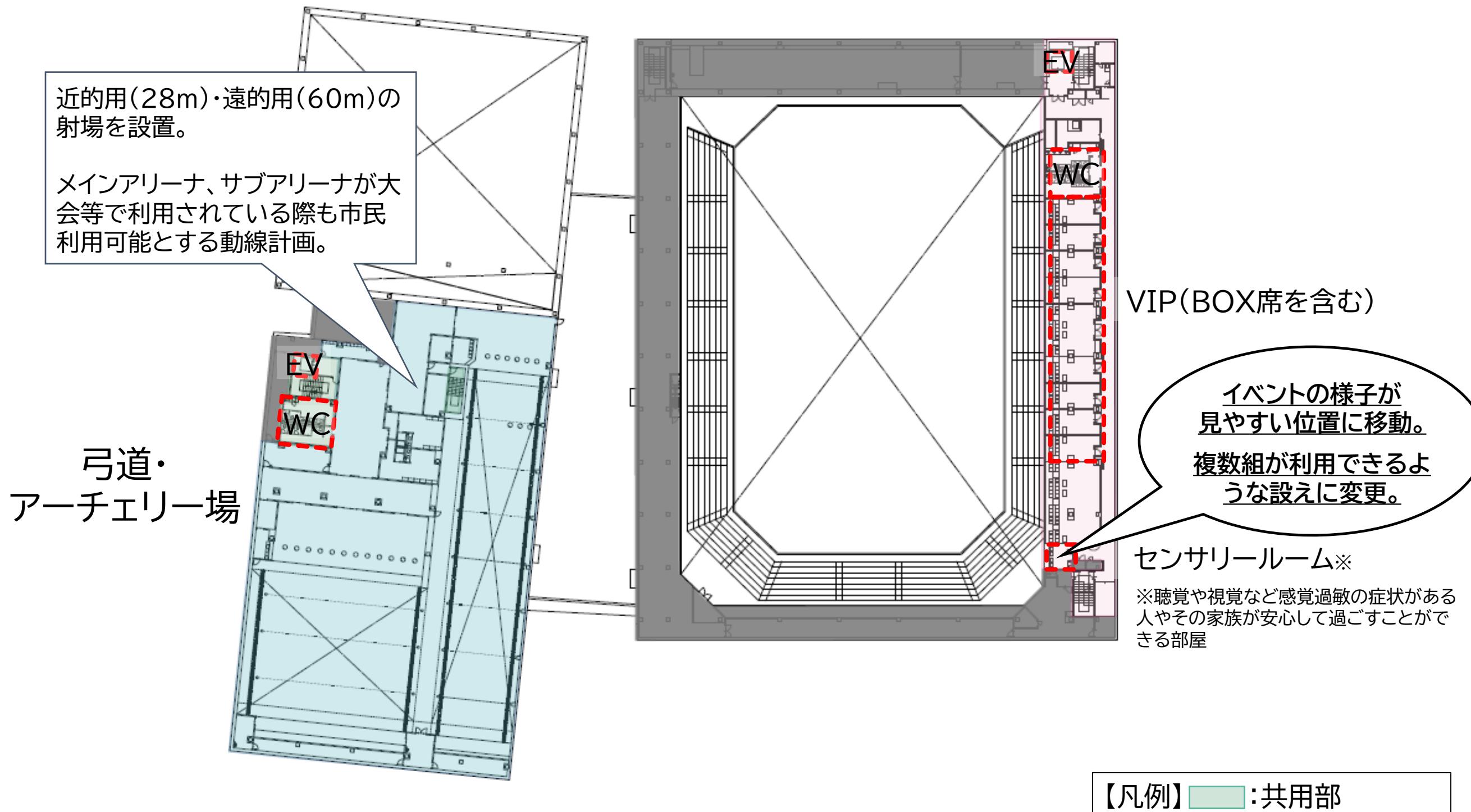
3.基本設計概要 (2)多目的屋内施設

多目的屋内施設平面図(2F) (案)



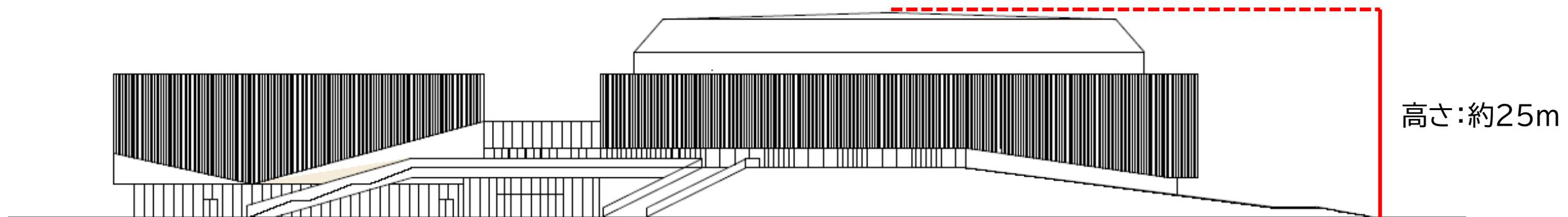
3.基本設計概要 (2)多目的屋内施設

多目的屋内施設平面図(3F) (案)



3.基本設計概要 (2)多目的屋内施設

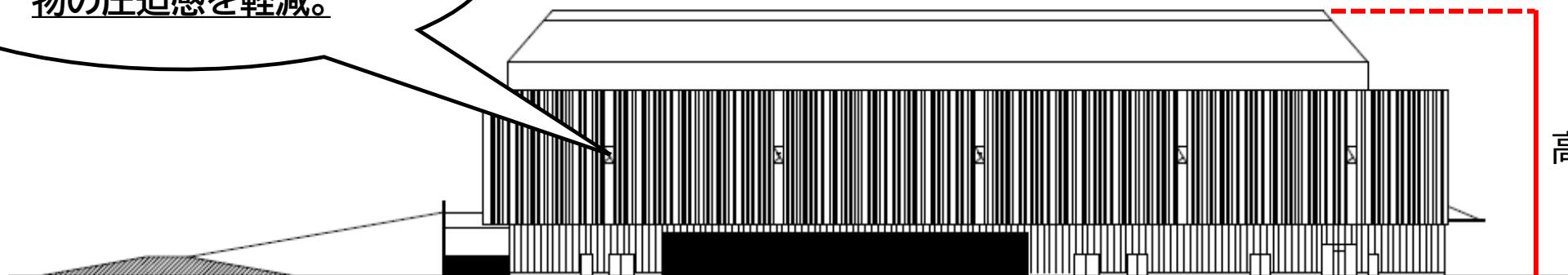
多目的屋内施設立面図(南側・東側) (案)



高さ:約25m

南側立面図

大きな壁面を分割したようなデザインとすることで、建物の圧迫感を軽減。

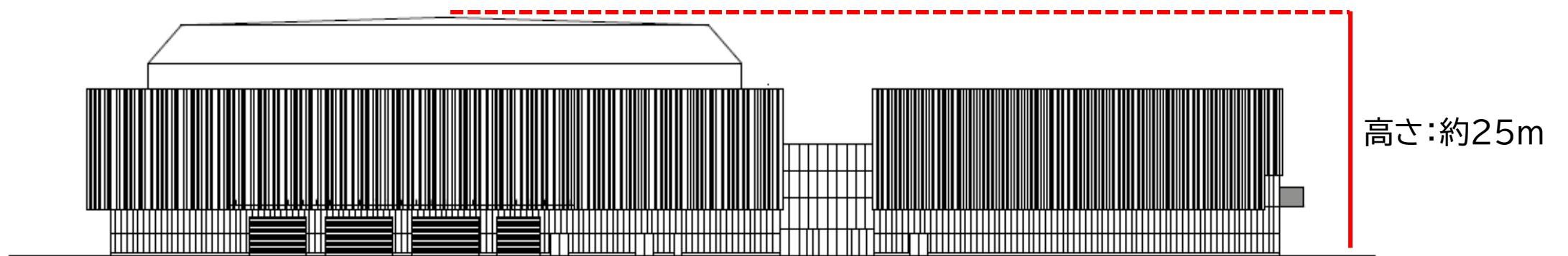


高さ:約25m

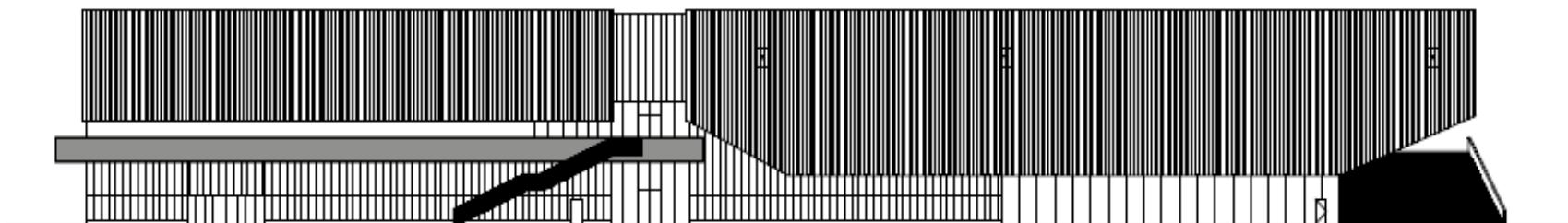
東側立面図

3.基本設計概要 (2)多目的屋内施設

多目的屋内施設立面図(北側・西側) (案)



北側立面図



西側立面図

ご清聴ありがとうございました